

平成 30 年度 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 地球学校

I. 総括

念願だったホームページ（HP）のリニューアル版は 10 月に公開できました。その効果は 2019 年になって表れ、各事業で活動したい旨の問い合わせが増えています。また新たに、クレジットカードで寄付ができるサイトも設置しました。HP の他にも、時代の変化に応じて必要に迫られているシステム改革に取り組み始めました。長期的視野にたち、少しずつ形にしていきます。

このような中、当期の経常収支は赤字となりました。HP のリニューアル費用を一括経費処理にしたことが一因ですが、こちらは今期で全て処理することにしました。地球っ子教室への助成金は、昨年度からの継続で連合・愛のキャンより二年目の助成をいただくことができました。

日本語教室は業績の改善という意味では依然として厳しい状況が続いています。昨年度の課題であった学習者と教師のマッチングは改善され、学習者数は増えていますが、全体のレッスン時間数は減少しています。分析の結果、平日夜と週末の受講者は、平日昼間の受講者に比べ受講回数が減少していました。平日夜は残業、週末はプライベートの予定が入る傾向があり、日本語学習との両立が難しい側面があるようです。一方、特筆すべき点は企業レッスンが大幅に増加したことで、新年度も企業からの問い合わせが続いています。また、JLPT クラスの常設、非漢字圏学習者の漢字学習をサポートする KANJI カフェを新たに開始しました。HP のリニューアルに伴い、日本語教師、学習希望者ともに申し込みは増えており、さらなる改善へと進んでいます。

地球っ子教室は教室を充実させる活動として、新たに支援者の見学会と父母会を行いました。引き続き“小菅ヶ谷地域ケアプラザ”では漢字王決定戦を行いました。年間 2 回の内部研修実施とともに、外部では当教室の活動紹介を行いました。あーすぷらざで行われた研修会、横浜国立大学の学生のポスター発表会ほか、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ行われた研修会では地球っ子教室の活動事例報告を行いました。来日する子どもたちの低年齢化に伴い、小学生の参加数が増加しています。今年度も教室には大勢の外国につながる子どもたちが参加しました。

多文化交流事業として特筆すべきことは、12 月の寄付月間イベントです。今年度は初めて、公式認定企画として活動できました。横浜の日本大通りにある神奈川県住宅供給公社の協力により、スペース kosh33 で活動している団体とのコラボレーションが実現できたことは、今後にもつながる意義ある時間でした。その他例年通り、かながわ国際ファンクラブのスペシャル・サポートウィークに地球っ子教室で参加し「漢字王決定戦」を開催しました。また、日本語教室では「にほんご×しゃべりば」を夏と冬に開催し、学習者同士が交流できる場ともなりました。

以上のように、NPO 法人になって 18 年目となる 30 年度は、今後につながる礎ともいえる記憶に残る変化の年になりました。それは、NPO の理念、自分たちが存在する意義や役割を再確認する機会でもありました。長年続けた方法を変えて新しくすることは、初期段階は大変なことが多いものですが、時代の変化に応じた意味ある変化は、今後も恐れずに挑戦していきます。

II. 事業の成果

日本語教室では1年間で62名20カ国の学習者が日本語を学びました。新規学習者は26名、3月末現在で48名の学習者が在籍しており、前年同時期に比べ6名増です。課題であったレッスンのマッチングは50%から70%へと改善されましたが、全体のレッスン時間数は約1849時間と、昨年度の2054時間より減少しました。この状況を改善するため、様々な取り組みを始めました。5月からN3クラスを開講(受講者2名)、2月からは7月受験を目指すN2とN3のクラスを開講(受講者計3名)しました。また、10月から始めたKANJIカフェの参加者は3月末時点では3名ですが、その後増えつつあります。日本語能力試験については、N1からN5レベルまで17名が受験し、9名が合格しました。新たな取り組みとして、教師同士の交流・スキルアップを目指すスタディ・セッションが始まり、年間4回開催しました。新旧の会員が集まり情報交換や交流ができたことは大きな成果です。定例ミーティング時の勉強会も継続中で、計7回実施しました。

地球っ子教室では、土曜教室37回、夏休み・春休み教室計7日間の教室を開催しました。外部の有識者3名を招いての運営委員会を3回、漢字教材作成ミーティングを通年行いました。今年度の外国人児童・生徒は、国籍は中国をはじめ、台湾・アメリカ・韓国・フィリピンなど9カ国、登録者総数は79名、うち小学生53名・中学生24名・幼児2名となりました。漢字王決定戦の開催は恒例の年間2回のみでなく、“小菅ヶ谷地域ケアプラザ”で1回、地域の小学生とその保護者を対象として開催しました。子どもたちを支援してくれるボランティアとして、今年も大学からの要請により学習院大学から3名、横浜国立大学から18名を受け入れました。また、外部開催の講座などで地球っ子教室の活動事例発表を行う機会を、計3件得ました。助成金は、昨年度に続き「連合：愛のキャンパ」から教室運営への助成をうけました。12月の寄付月間では公式認定企画としてイベントを行うことで寄付金を募り、教室活動に約20万円の寄付を得ました。

多文化交流事業では、寄付月間イベントを12月に他団体と共同開催し、地球学校主催の参加者は計58名でした。地球っ子教室と連携して8月に実施した外部イベント「漢字王決定戦」の参加者は10名でした。日本語教室のイベントは7月と1月に実施し、参加者は計22名でした。会員同士の交流会は、6月に交流会、1月に新年会を実施し、参加者は計35名でした。

III 事業内容

1. 日本語教室に関する事業

- ・内容 日本語上達を希望する学習者への日本語指導、日本語学習支援
- ・日時 通年 1,144回
- ・場所 かながわ県民活動サポートセンター 教室及びフリースペース
企業の会議室、自宅 (Skype・出張レッスン)
- ・従事者人員 日本語教師資格を有する正会員 28名
- ・受益対象者 日本語学習を希望する母語が日本語ではない学習者 48名
- ・支出額 2,911,597円

2. 地球っ子教室に関する事業(外国人児童生徒への支援) 活動内容

- ・内容 外国人児童生徒への日本語指導、教科の学習支援
- ・日時 通年の土曜日 13:00から15:00 37回
- ・場所 かながわ県民活動サポートセンター

・従事者人員	会員・サポーター（一般・大学生） 延べ 417 名
・受益対象者	外国人児童・生徒 延べ 999 名
・内容	外国人児童生徒への日本語指導、教科の学習支援
・日時	夏休み・春休み休暇期間中の教室 10：00 から 15：00 7 日間
・場所	かながわ県民活動サポートセンター
・従事者人員	会員・サポーター（一般・大学生） 延べ 70 名
・受益対象者	外国人児童・生徒 延べ 149 名
・内容	運営委員会
・日時	通年 3 回（9/27・12/17・3/26）
・場所	かながわ県民活動サポートセンター
・従事者人員	会員・外部有識者 6 名
・受益対象者	会員・サポーター、外国人児童・生徒
・内容	教材作成および教務活動
・日時	通年
・場所	かながわ県民センター、地球市民かながわプラザ
・従事者人員	教材作成者 3 名
・受益対象者	外国人児童・生徒 約 100 名 ほか
・内容	内部研修ボランティア講座
・日時	年間 2 回（9/8・10/27）
・場所	かながわ県民活動サポートセンター、かながわ国際ファンクラブ
・従事者人員	講師 1 名
・受益対象者	会員・サポーター 21 名
・内容	地球っ子教室「見学会」
・日時	年間 1 回（7/14）
・場所	かながわ県民活動サポートセンター
・従事者人員	会員・サポーター 12 名
・受益対象者	ボランティア希望者 8 名、外国人・児童生徒
・内容	地球っ子教室「父母会」
・日時	年間 1 回（11/3）
・場所	かながわ国際ファンクラブ
・従事者人員	会員・サポーター 10 名
・受益対象者	外国人児童・生徒の保護者 5 家族
・合計支出額	985,202 円

3. 多文化交流に関する事業

・内容	寄付月間イベント、学習者との交流・イベント、会員同士の交流
・日時	通年 全 6 回
・場所	かながわ県民センター、かながわ国際ファンクラブ、kosha33 ほか
・従事者人員	担当スタッフ 2 名
・受益対象者	会員、各教室の学習者・子ども達、日本在住外国人、日本人 125 名
・支出額	29,574 円